

服装は印象に残らない。

印象に残るのは、表情だ。

「できるだけ好印象のために、ビジネススーツを着ていこう」

異業種交流会の当日、ほとんどの人はビジネススーツを着ていくことでしょう。

それは自然な考えです。

しかし、残念ながら、あまり重要ではありません。

印象に残りにくいからです。

そもそも異業種交流会に出席するメンバーのほとんどがビジネススーツです。

誰もが似たり寄ったりの服装です。

スーツ姿は、無難ではありますが、印象に残りません。

考えても見てみましょう。

実際、後から思い出そうと思っても、顔すら思い出せないくらいです。

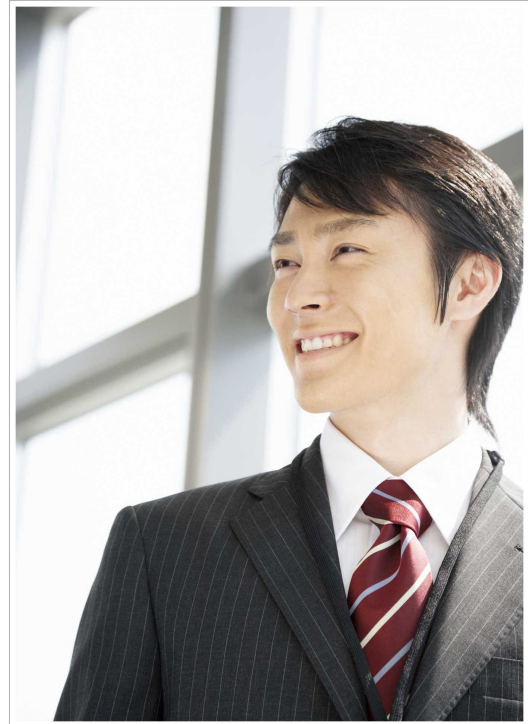
着ているスーツは、ほとんど印象に残らないと思っていますでしょう。

スーツで相手に印象づけるのは、難しいことに気づきましょう。

では、服装より重要なのは何か。

「表情」です。

笑顔になることが大切です。



服装より笑顔のほうが、はるかに大切です。

スーツは印象に残りませんが、顔の表情というのは印象に残ります。

不機嫌な表情をしていると、第一印象が悪くなるため「この人と一緒に仕事をしたくない」と思われるでしょう。

一方、にこっとしている人は「優しそうだな。この人と一緒に仕事をしたいな」と思わせます。

仕事は誰とするか。

「何か感じのいい人だったな」

「何か感じの悪い人だったな」

後になって思い出せるのは、この印象だけです。

「一緒に仕事をしたいな」と思わせるように、笑顔が大切なのです。

異業種交流会を楽しむ方法 その14

服装より、笑顔に気を使う。